



いせを知る おかしの伊勢

2限目

にしきえぬりえに チャレンジ!!

しゅうちゅうりよく
集中力が
ため
試される!



ぶんか しんこう か
文化振興課 (☎22-7884 FAX 23-8641)

市教育委員会所蔵(伊勢古市参宮街道資料館に展示)

伊勢は古くから「神宮ご鎮座のまち」として、日本各地から注目を集めてきたまちです。その様子が分かるさまざまな資料が残っています。その中でも、江戸時代につくられた「錦絵」の「文政十三庚寅春御影参道の粧」では、日本各地から伊勢を目指した人々のことが分かります。ぜひ、下の錦絵を自由にぬりえをして、当時の様子を感じてみましょう。

ぬりえをする前に
この錦絵について学ぼう!

文政13年(1830年)の「おかげ参り」の様子を描いた6枚1組の貴重な錦絵です。

「おかげ参り」とは、神宮の「おかげ」を受けて無事お参りできたことからきており、江戸時代以降から集団でのお参りが始まったといわれています。

また、天からお札が降ったなどのうわさが日本各地に広まったことをきっかけに、ほぼ60年ごとに伊勢を目指すことが流行しました。その年のことを「おかげ年」と呼びます。



にしきえ とし
この錦絵の年には、半年で日本各地から当時の人口の6分の1に当たる約500万人が伊勢を目指したといわれとるんやに!

伊勢市観光協会 公式キャラクター
「ぬまりん」



にしきえ えど じだい
錦絵は、江戸時代に完成した方法で印刷した絵(木版画)として、当時の様子や文化・流行などが描かれとるんやに。

